

# なかとんべつ 町議会だより

Volume

# 209

令和2年1月24日発行



令和最初の中頓別町成人式（1月12日）



第4回定例会議決された議案等 .....	3
私たちの一般質問 .....	5
いきいきふるさと常任委員会所管事務調査 .....	9
議会の動き・議会だより・あとがき .....	10



## 第4回 定例会

令和元年第4回定例会が、12月9日から10日まで2日間の日程で開催され、初日の行政報告で小林町長は、次の2点について報告をしました。

1. 稚内空港ビル株式会社に係る株式の譲渡について、北海道内7空港については、一体的な運営を民間委託に向けた手続きが進められているところであり、令和元年10月31日に北海道エアポート株式会社とその運営権者となったことから、現在町が保有しております稚内空港ビル株式会社の株式は、令和2年1月7日（予定）に譲渡することとなります。
2. 中頓別町国民健康保険病院常勤医師の退職について、令和元年10月16日に採用となりました石井学医長につきまして、一身上の都合による自己都合として令和元年12月13日付けにて退職することとなりました。

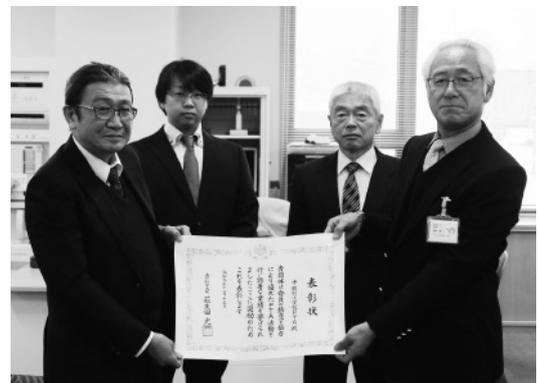


医師2人体制が急務となる国保病院

教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

1. 中頓別小学校PTA「文部科学大臣表彰」受賞について、長年の活動が認められ優良PTAに輝いたことから、11月15日に東京都で開催された授賞式に沢口智校長が出席して、表彰状を受け取りました。

今年度の文部科学大臣表彰には全国129団体、道内5団体が輝きました。管内からは中頓別小学校PTAが唯一の受賞となりました。



受賞報告をした沢口校長と平山PTA会長

一般質問では、通告順に5議員が、本町が抱える諸問題について、町長に所見を質しました。町長から提案された人事案件1件、新規条例案2件、条例改正案10件、規約の変更1件、工事契約の締結1件、一般会計及び国民健康保険病院の補正予算を、原案どおり可決し、閉会しました。

# 第4回定例会で 決まりました



## 議決された議案等

○**議案第2号 固定資産評価審査委員会員の選任同意**

12月23日に任期満了を迎える委員を再任することに全会一致で同意。

字中頼別 是川哲男さん

任期 令和元年12月24日～令和4年12月23日

○**議案第65号 放課後等デイサービス事業所設置条例の制定**

心身の発達において特別な配慮が必要な児童に対し、総合的に支援し健やかな成長を図るため、条例を制定するもの。



放課後等デイサービス事業所はこども園内に設置

○**議案第66号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定**

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、新たに会計年度任用の職が設けられることに伴い、当町の会計年度任用職員の給与に関し必要な事項を定めるため制定するもの。

○**議案第67号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例（一部改正）**

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、新たに会計年度任用の職が設けられることに伴い、関係条例の整備等を行うもの。

○**議案第68号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例（一部改正）**

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い改正するもの。

○**議案第69号 成年後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の改正に伴う関係条例（一部改正）**

成年被後見人などの権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律が公布され、当町においても関係する条例の所要の手続き規定の整備、用語の整理等を行うもの。

○**議案第70号 各委員会の委員等の報酬額及び費用弁償並びにその支給に関する条例（一部改正）**

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が改正されたことから、特別職非常勤職員である投票管理者等の報酬を改正するもの。また、介護認定審査会共同設置に係る経費について、事務局を担当する町の条例、規則、その他の規定に基づくため併せて整備するもの。

○**議案第71号 職員給与条例（一部改正）**

人事院勧告を受けて、給与改定等のための関係条例の改正をするもの。

○**議案第72号 印鑑の登録及び証明に関する条例（一部改正）**

住民基本台帳に旧氏が記録されることに伴い、印鑑登録にも旧氏が用いられるようになることから改正するもの。

○**議案第73号 自動車学校運営に関する条例（一部改正）**

○**議案第74号 公共下水道条例（一部改正）**  
○**議案第75号 水道事業条例（一部改正）**  
○**議案第76号 国民健康保険病院使用料等条例（一部改正）**

令和1年10月1日から消費税及び地方消費税の税率が引き上げられたことに伴い、引き上げ相当額分を上乗せするため改正するもの。

※議案第73号から第76号の改正理由は同じです。

○議案第77号 南宗谷地区介護認定審査会  
共同設置規約の変更

介護認定審査会の事務局が「枝幸町」から「中頓別町」に変更することに伴い、規約を変更するもの。

○議案第78号 工事請負変更契約の締結

下水道管理センター監視制御設備更新工事の契約を変更するもの。



下水道管理センター

○議案第79号 一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ549万円を追加し、歳入歳出の総額は1億4千169万円に。

歳出では、駅向線交付金工事の本年度分確定により2千199万円を減額し、奨学金等償還支援貸付金258万円、小学校・中学校にそれぞれ教務用・児童及び生徒用パソコン一式2千692万円などを追加するもの。



教務用及び生徒用パソコンを導入する中学校

○議案第80号 国民健康保険病院事業会計  
補正予算

収益的収支の既決予定額に変更は無いが、たな卸資産購入限度額を480万円減額し、既決予定額を4千354万円に。  
職員の給料及び材料費である薬品費及び診療材料費を減額し、出張医師賃金を追加するもの。

全国町村議会議長会創立70周年記念表彰  
在職30年以上の村山議長へ

11月13日東京都で開催された全国町村議会議長会創立70周年記念式典において、町村議会議員として30年以上在職の村山議長に対し、団体の意思決定、行政監視、政策提案といった議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した功績が称えられ、全国町村議会議長から表彰されました。



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。  
次の定例会は、3月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

## ここが聞きたい、知りたい 私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

中頓別町の教育の現状、課題、今後の方向性について

小学校では2020年度よりプログラミングの教育が必修化されるようだが、そもそもプログラミングとは何か。どんな授業をするのか。また、5・6年生では外国語がひとつの教科となる。そこで現在の教育の現状、課題、今後の方向性について教育長に伺います。

答 弁 ○田邊教育長

プログラミングとは、コンピューターに行ってほしいことをしっかりと道筋を立てて正確な指示を与えること、コンピューターを利用した計測や制御の基本的な仕組みを理解させることです。難しいプログラムを書くこと

質問

地域包括ケアシステムプロジェクトについて

先般、厚生労働省の作業グループからの地域医療構想の報告の中で再編統合の対象として、中頓別町立国保病院が取り上げられましたが、町長も行政報告の中で述べられているように、受け入れがたい内容であることは確かです。現在当町では、地域包括ケアシステムプロジェクトを立ち上げているとのことですが、どのような調査や議論が行われているのか、プロジェクトへの住民参加について伺います。

答 弁 ○小林町長

北海道総合調査会が実施している「地域医療構想」と地域包括ケアの連携を実現する「住民主体の町づくり」の促進に向けたもので、中頓別町がモデル地区の一つになっています。「まちづくり」のなかで交通や健康づくりなどの組み合わせを視野に、医療機関のダウンサイズとソフト面のバージョンアップを推進できるプロセスをモデル化することを目的にしています。本事業の成果を活用して多くの町民の皆さんのご意見を反映できる形で、今後の地域医療体制や介護・福祉・保健事業等の見直し、充実を図っていききたいと考えています。

高橋憲一 議員



やキーボードで入力するなど、技能を習得することはねらいではありません。次に外国語活動についてです。現在の学習指導要領では、年間5・6年生は外国語活動を35時間実施することになっていきます。新学習指導要領では年間3・4年生で外国語活動を35時間、5・6年生は教科外国語を70時間実施することになります。中頓別小学校は、昨年度から年間で1・2年生は3時間、3・4年生は15時間、5・6年生は50時間、外国語活動を実施しました。今年度は、年間で1・2年生が15時間、3・4年生が25時間、5・6年生は60時間実施して、新学習指導要領の円滑な実施に備えています。

質問

酪農ヘルパー事業への支援の充実について

近年、「働き方改革」と称して様々な改革が進められています。本町の基幹産業である酪農はその恩恵を受けているようには見えません。酪農家の労働時間や休暇の取り方など調査されていますか。

そうした中で酪農ヘルパー事業は大変重要な役割を担っています。しかし、専任ヘルパーの確保が困難を極めているように伺っています。その原因の多くは賃金など労働条件の不十分さにあるように思います。ヘルパー事業を充実させて労働環境の整備が後継者確保やパートナー対策につながると思いがすがいかがですか。

答 弁 ○小林町長

酪農家の労働時間を改めて調査はしていませんが、「認定農業者」の認定の際の「経営改善計画書」などで示された労働時間は、全国の酪農家の平均を上回っています。

専任ヘルパーの待遇等については、運営組織としての考え方もあることから町として意見を申し上げるところではあります。利用組合からの相談、要望等があれば、対応について検討す

る考えであります。

星川 三喜男 議員



質問

人口減少で今後の中頓別町について

毎年、毎月と中頓別町の人口減少に歯止めがかかりませんが、行政として人口減少をどのように捉えているのか。また、行政として今後に関わる対応策などを考えているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

日本の人口は2008年をピークに年々減少を続けており、約30年後には1億人を割ることが推計されているところであり、中頓別町におきましては昭和30年代後半から人口減少が始まり、ここ10年間で見ますと300

人ほど、約17%程度が減少している状況にあります。

これまで町総合戦略に基づき、酪農や商工業への支援、教育や子育て環境の改善を図るなど定住化に向けた取組みを行い、さらには移住に向けた取組みも行ってきたところでありますが、地域の様々な分野で担い手確保に苦慮している状況を鑑み、人材確保に繋がっていく取り組みを進めていきたいと考えているところです。

質問

道営事業の哺育育成センターの内容について

数年後に哺育育成センターが設立予定ですが、全体の規模(建物、関連施設、作業機械)運営はどのように考え、従業員の確保や従業員の住宅など、どのように考えているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

乳用牛の哺育育成預託施設は、本年度に事業採択を受けた道営事業である「草地畜産基盤整備事業」により、令和5年度までの事業期間のなかで整備を進める計画としております。計画では0ヶ月から22ヶ月齢までを預託し、年間144頭(延べ276頭)を受け入れ、施設は哺育舎、育成舎、飼料貯

蔵施設、乾草舎、堆肥舎、管理棟を整備する予定であります。

施設の運営につきましては、公募による指定管理者制度を活用することを前提に検討しているところであり、従業員の確保等については指定管理者側で確保していただく形になると思われませんが、必要に応じて協議を行うこととしたいと考えております。従業員用の住宅につきましては、近隣に整備されている法人牧場からの相談も受けていることから、新たな居住施設の整備も視野に検討が必要と考えております。

質問

路線バス運行変更について

路線バス運行変更で、朝の浜頓別高校への通学路線バスが中頓別バスターミナル始発となり、沿線生徒への足の確保は今後どのように考えているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

本年10月1日付で行われました天北谷岬線のダイヤ改正により、中頓別バスターミナル以南から天北谷岬線を利用して浜頓別高校に通学することができなくなったところであり、中頓別市街地以外の地域から浜頓別高校に通学する生徒は現時点でならず、

来年度に向けた進学についても現在の中学3年生においてその予定はないと確認しております。しかしながら、来年度以降については対象となる生徒が出てくる可能性も十分考えられますことから、新たな交通手段を構築するところとは費用負担の面から難しいところがありますので、スクールバスと接続させるなど、可能な限り既存の交通資源を活用した対応について内部で協議を進めたいと思います。

東海林 繁 幸 議員



質問

ドリームジャンボファームの現状の課題について

前回の常任委員会で、問題視された財政状況の不透明性、不適切な人事管

理、助成条件の不適切な状況はどのように改善整備されましたか。また、この件に関する指導助言はされているのか伺いたい。

答 弁 ○小林町長

助成要件は、一定額の投資がなされ、且つ一年を経過した日に5人の雇用者が確保されていることである。現在、雇用者数が下回っている町としても状況の改善を支援している。一年を経過した日以前であっても必要な指導はする。

不適格要件が確定後の対応は今後検討する。

質問

ピネシリ温泉の課題と今後の対応について

施設整備、職員確保、営業活動の現状と今後の改善をどうするのか。

答 弁 ○小林町長

小修繕は、その都度対処しているが、浴槽、屋根、ボイラーなどについては施設全体の抜本的な見直しが必要である。

観光関連施設の再整備計画の中で検討します。

職員確保に努力しているが人材の確

保に至っていない。

おせち料理、忘年会、新年会など宴会プランをチラシなどで宣伝したい。営業活動がこれまで不十分であることは承知している。

質問

森林環境譲与税に対応する具体的な事業について

来年度はどのような事業をするのか具体的に示してください。

答 弁 ○小林町長

令和2年の事業は既存施策では対応ができない森林整備や木材利用促進対策のほか、森林、林業への関心を高める普及啓発活動などに活用したい。



森林環境譲与税に対応する森林整備

質問

町立病院の存続について

新聞などで町の病院の統廃合が報道され町民は不安を感じている。病院の存続について町として基本的な考えを伺う。

答 弁 ○小林町長

地域医療の確保は最重要な課題と考えている。

一定の見直しは必要であるが、将来においても医療提供体制を確保し、介護・福祉、保健事業などの連携で町民が安心して住み続けられる体制を構築していきます。



地域医療の確保は最重要課題

## 宮崎泰宗 議員



## 質問

## 第8期総合計画策定に向けて

平成24年3月に策定された現行の第7期総合計画は、たった3年で人口に大きな乖離が生じ、目標から150人も下回る数値へ修正された。人口問題研究所の予測に全くあがえていない中、中頓別町は色んな事に取り組み、羨ましいとの声もあるようだが、他の自治体のようにハッキリとした特徴は聞かえてこない。数打ちや当たると「色んな事やる町」を今後も続けていくのか。

町内では中頓別を酪農の町だという人もいるが、町外の方に酪農の町と言えどどこかと聞いて中頓別と答える人はいない。

農業において中頓別は酪農一辺倒と言える状況だが、畜産や畑作についてはどのような状況にあるのか。中頓別では酪農以外の農業でも農業者になれるのか。畜産や畑作においても農業者として認定されている方はいらっしゃると思うが、酪農以外で農業者認定を受けるのは難しいというイメージもあるように確認させていただきたい。

また、本町は特養と養護、両機能を備える老人ホームの長寿園と厚生園などの障がい者施設を運営する南宗谷福祉会という一大法人を有していることなどから福祉の町という見方もあるが、せっかく施設が新しくなったり法人としても工夫されていたりするのに、人員不足などの要因で利用者を受け入れることができず、町外への流出を招いている実態もあると聞く。これも人口減少の一因になってしまおうと思うが、事実そのような状況にあるのか。



特養と養護、両機能を備える老人ホーム長寿園

## 答 弁 ○小林町長

国全体の人口が減少するなか人口増加を実現することは至難だが、子ども・子育て支援の充実、高齢者や障がい者を含めすべての人が安心して暮らすことができる暮らしの基盤を確立することが基本である。第8期総合計画では、さらに、農業や森林・林業、観光など地域資源を活かした雇用創出と所得の向上もめざし、町民の積極的な参加と関係人口の創出・拡大などを通して幅広い人材が力を合わせたなか、策定過程から生まれる新たなまちづくりの取り組みが広がっていくことを期待している。

現計画の策定時に関して反省すべきところがあったことは率直に認めた上で、次計画の策定体制を構築している。すでに準備に入っており、来年度から本格的な作業に着手していきたいと考えている。酪農以外の農業者として認定されているところは町内にも数戸あるが、営農としては皆無という状況である。畜産や畑作など、酪農以外の農業形態についても歓迎したい。

## 答 弁 ○吉田保健福祉課長

福祉施設の利用については様々な理由により町外への転出を余儀なくされる方もいるが、人員不足等、施設の都合による利用者の流出は防いでいきたい。

## 質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

**いきいきふるさと常任委員会  
所管事務調査報告  
(11月28日)**



議員全員で構成する「いきいきふるさと常任委員会（宮崎泰宗委員長）」では、閉会中の所管事務調査として、ドリームジャンボファームの運営状況について視察を兼ねた調査を実施し、その結果を第4回定例会に報告しました。

**【調査事項】**  
ドリームジャンボファームの運営状況について

はじめに松音知地区にあるドリームジャンボファームの視察を行ったあと、役場に戻り運営状況の説明を受けた。導入実績と淘汰販売実績について、乳牛は11月現在で196頭導入、淘汰は21頭（死亡6頭、廃用11頭、販売4頭）で、175頭の飼養頭数となっている。今後も毎月10頭程度導入予定。出荷乳量は、10月末381tで計画値と比較して若干落ち込んでいる。それに合わせて農業収入である生乳代金が現時点で計画値を下回っている。

支出は、職員の人員が足りない状況で雇用労賃などが減少しているため、収支バランスが保たれている。

今後の見込みは、乳量では999tで計画値より235tの減少となるため、生乳代金も下がり収入も減少する。それに合わせて支出も減少することから最終的には1千800万円程度の黒字を見込んでいる。

**【審意見見】**

①現状では補助要件を満たしていないので、早急に対応を望むものである。  
②年度末を持って経営状況を判断するだけでなく、年度途中であっても計画よりも著しく達していない状況になった場合、町からの指導を望むものである。

**ドリームジャンボファーム視察の様子**



## 議会の動き

### 11月

- 3日 文化スポーツ表彰授賞式
- 4日 開拓110年町制施行70周年記念式典
- 10日 自民党移動政調会(稚内市)
- 12日 武部新衆議院議員との懇談会(東京都)
- 13日 全国町村議会議長会創立70周年記念式典・第63回町村議会議長全国大会(東京都)
- 16日 三好雅政経セミナー(猿払村)  
中頓別町ふるさと会札幌懇談会(札幌市)
- 26日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会

### 12月

- 9日~10日  
第4回定例会
- 14日 天北厚生園クリスマスパーティー
- 17日 南宗谷消防組合議会(枝幸町)

### 令和2年1月

- 4日 新年交礼会
- 5日 消防出初式
- 9日 議会広報編集特別委員会
- 12日 令和2年成人式
- 16日 議会広報編集特別委員会
- 20日 宗谷町村議会議長会定期総会(稚内市)
- 22日 第1回臨時会

## 議員だより ~私の思い~

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

### 『地方議会議員は職業か』

各種調査物に氏名のほか、職業欄があります。私は数年前までは「無職」と記述してきました。他の議員も職業は「農業」、「会社役員」であり「地方議会議員」と記入する人はいないでしょう。

皆様から見れば議員には報酬が支給されているのだから「職業」としてもよいのではと思われる方がいても当然です。

この数年前から私は「無職」と記入するのは止め、「地方議員」と書くように心がけています。

理由はまず報酬を受けていること、ほぼ毎日のように議員活動をしていることに鑑み、地方議会の使命と役割を考慮すれば、その対応をしっかりとすることを踏まえ大変立派な職業としてとらえております。

理想をいうと私のような年金生活者でない、青年、壮年の方々が職業「地方議会議員」と記述できるような生活安定した報酬を得て地方行政の「専門家集団」となる議会のあり様(外国にはあります)を想像しているこの頃です。

(綴人 東海林 繁幸)

## ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)  
で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから

中頓別町について ⇒ 中頓別町議会

又は 行政情報 ⇒ 議会 へ進みご覧ください。  
議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、TEL6-2244(議会事務局)へ。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。  
令和2年がスタートし、この「なかとんべつ議会だより209号」が発行される頃には、小中学校では冬休みも終わり、普段どおりの生活を取り戻しつつあるのではないのでしょうか。  
今シーズンの冬は、まれに見る暖冬で12月中旬まで降雪と降雨を繰り返し、降っては融ける意味落ち着かない季節を送ったことではないでしょうか。厳しく長いはずの冬が約一月も遅く、温かな気候は衣替えの時期の難しさを感じたのではないのでしょうか？  
しかしながら季節の移り変わりは、自然の節理として必ず訪れ、いつもの年と同様にインフルエンザの流行などももたらします。私もその流行に乗ったかのように、感染してしまい5日間行動することすらままならず、高熱にうなされてしまいました。マスクや手洗いがいの重要性を再認識し、健康維持のための予防対策については、日々の行動が鍵となります。議会だよりをご覧の皆様におかれましては、日々の行動が鍵となります。議会だよりをこの春の芽吹きを楽しみに、厳しい冬を元気に乗り越えたいと思います。

議会広報編集特別委員会(長)

発行 中頓別町議会 / 編集 議会広報編集特別委員会  
〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6  
tel (01634) 6-2244(直通) / fax 6-1155